

# 運営推進会議4月会議録

園長	次長	係長	主任
			

(定例) ・ 臨時)

令和 8 年 4月23日(木曜日)	司会	記録
午前 ・ 午後 14時 00分 ~ 午前 ・ 午後 15時 00分	斎藤係長	本宮

<p>【出席者】</p> <p>菊入園長 井上園長 青木次長          村田みさ子様 加藤昭様 山口伸也様          屋良清香様 田村様          斎藤係長 佐野主任 本宮</p> <p style="text-align: right;">計 11名</p>	<p>【欠席者】</p>
--	--------------

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
1 あいさつ	菊入園長より参加者の皆様に挨拶が行われた。新年度となり運営推進会議に新しい委員の方が入って来られるが、忌憚のないご意見を頂きたいことが伝えられた。
2 委員自己紹介	今年度新たに運営推進委員となった方、昨年度より引き続きの委員の皆様から自己紹介をして頂いた。
3 令和8年度会議開催予定	斎藤係長より令和8年度会議の開催予定について説明。基本は偶数月の第三水曜日を開催日とすることを共有した。また、6月に運営推進委員の皆様にご参加・見学頂く避難訓練を予定していることについても共有した。
4 令和7年度まとめ	<p>斎藤係長より3月実績、令和7年度運営状況報告が行われた。</p> <p>●3月実績について平均利用者数28.55人、稼働率98.44%、通い1日平均14.5人訪問16.3回、泊り5.1人。訪問に関しては訪問体制強化加算要件である月200回以上の提供回数を超えて合計504回。</p> <p>サービス提供回数については、登録者1人当たり平均回数が、週4回に満たない場合に減算となる「過少サービスに対する減算」があり、今回はサービスの平均回数が8.8。</p>

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
	<p>●入退所:2, 3月ともに終了・開始が各1件ずつ。R8.2.1にサービス開始となった一人暮らしの女性。長年自立した生活を送っていたが圧迫骨折後に意欲低下と物忘れの進行がみられ心配したご家族が介護保険申請。サービス開始までは、市外に住むご家族が毎日通いで食事や内服の支援を行っていたが負担が大きく生活全般を支援してくれるサービスを希望し、当事業所との契約に至る。</p> <p>利用開始前は引きこもりと家族への止まない電話に苦慮していたご家族だったがサービス開始後は意欲が向上し、家族に連絡せずに外出先から家族に連絡が行く状況へと変化。ご本人の変化にご家族も戸惑っている状況ではあるが、状況に合わせた支援を引き続き実施。</p> <p>●事故報告:五泉市に報告を必要とする重大事故1件。夕食後薬1錠、眠前薬1錠を同じ袋に入れて3泊4日分を管理していたところ本来各1錠ずつ服用すべきところを、同じ種類の眠前薬2錠を誤って取り出し薬箱にセット。その後本人へ渡し服用。翌日の薬をセットする際に、食後薬2錠残っていることに気づき、3日分を取り置きしてある服用後の薬袋を集めたものを確認し、前日に同じ薬を2錠服用していたことに気づく。薬をセットした職員とは別の職員2名で内服のダブルチェックを行っているが、その際「夜間は2錠服用」という部分は確認、錠剤内容は確認しきれず事故となった。ご本人様の夜間の状態に大きな変化はなく、ふらつきなども見られなかった。ご自宅から持参される薬は複数の物が一緒になっていることが多いため薬のチェックをする際は、錠剤の種類までを確認することを再度徹底し、事故の再発予防としていることを共有した。</p> <p>意見:薬は自分のものでも飲み忘れがある。ただの見間違いは大きな事故につながるため今後も注意して取り組んで欲しい。</p> <p>●佐野主任より2、3月の活動・研修報告が行われた。</p> <p>意見:様々な活動をしているのが分かった。ご利用者様の笑顔を見ても、皆さんが喜んでいる様子が伝わってくる。</p>
<p>【 懸 案 事 項 】</p>	

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
	<p>●令和7年度まとめ:平均利用者数は28.1人。ご利用者様の平均介護度は1.95。通いの1日平均は13.7人、訪問は13.6回、宿泊は5人。退院後の支援ということで相談を受け、受け入れ準備を進めていた方が急遽施設入所が決まる、体調の悪化から退院が未定となるなど新規に繋がらないケースが続き中々空きを埋めることができなかったことを共有。下半期は1人暮らしの方の依頼が続きR8.4現在で29名の登録者のうち14名がお1人暮らしであり約半数を占めている状況を共有。そのためR6年度は平均9回であった訪問が1日当たり13回となっており自宅で過ごすことはできるが食事や掃除などの生活上の支援が必要な方が増加している傾向にあることを共有した。契約状況についてほぼ毎月の入れ替わりがある状況。幸老吉清水は29名の契約定員となっているが年間14名の入れ替わりがあり、半分以上のご利用者様が年間を通して入れ替わった状況を共有。R7年度契約した14名のうち6名がお1人暮らしであり、在宅生活継続のための家事支援のニーズが高くなっている。これまで他事業所でのサービスを利用していただいた方の移行理由としては「通いと宿泊を同じ場所で提供してほしい」というものが多く聞かれていたことを共有。契約終了の理由としては「特別養護老人ホームへの入所」が14件中9件と最も多くなっていることについても共有した。意見:入れ替わりはあっても高い稼働率を維持しており、運営が順調な様子が伺えた。</p> <p>前ページ続き:介護度2・3の方の事故リスクの高さが見えてきていることを共有。要介護2・3の方については、補助具などを利用して1人で移動ができるものの足が動きにくいことを忘れて補助具を置き忘れ、使用しないまま動いたり、職員に支援をお願いするのが悪いとの気持ちから無理に動作を行おうとして転倒やベットからのずり落ちなどに繋がるケースが多くなっていることを共有。</p> <p>個人の性格や動作に合わせた環境の整備、危険な兆候の情報共有、職員との信頼関係構築も重要な事故予防であると捉え引き続きリスク管理に取り組む。</p> <p>意見:ヒヤリハット報告の集計が知りたい。→今年度は書式の関係で集計ができなかった。次年度より事故報告同様に集計し評価をしていきたい。</p> <p>●佐野主任より令和7年度行事・活動研修のまとめについて報告が行われた。 (詳細は別紙8、9ページ参照)</p>

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
5 令和7年度事業所 評価総括	<p>●別紙「サービス評価」総括表に記載されている地域かかりシートにまとめた昨年度の運営推進委員の皆様より頂いたご意見、それを基にした改善策について説明を行った。(詳細は別紙「サービス評価」総括表参照)</p> <p>意見:非常に細かいところまで意見を汲み取り、取り組みにつなげているのが分かった。職員の皆さんも一生懸命取り組んでいるのが良く分かった。</p>
6 幸老吉清水消防計画	<p>●運営推進委員の皆様と当事業所の災害時の対応を共有させていただくことで避難困難者を支える事業所として地域の方へのご協力をお願いする際にご確認いただくため、災害時の備えを共有させていただくことを目的としている資料内容であることを説明した。6月運営推進会議内にて避難訓練を実施予定。火災想定訓練を予定しているため配布した消防計画に沿って、避難・誘導を行うためご協力いただきたいことを説明した。(詳細は別紙幸吉清水消防計画参照)</p>
【 懸 案 事 項 】	